



慈生会だより

等潤病院・常楽診療所・イルアカーサ

～ 慈生会より関係各施設、周辺地域の皆様へ～

慈生会 理念 地域と共に生きる慈しみのトータルヘルスケア

【発行元】社会医療法人社団 慈生会 広報委員会

☎121-0075 東京都足立区一ツ家4-3-4

☎ 03-3850-8711 FAX03-3858-9339

ホームページ

<http://www.jiseikai-phcc.jp/>



当院は東京
ワークライフ
バランス認定
企業です



当院は
病院機能評価
認定病院に
認定されました



社会医療法人社団 慈生会

理事長 伊藤 雅史

新年を迎え、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

1月に入りインフルエンザが猛威を振るっています。人込みを避けマスクの着用や咳エチケットなどの予防対策が何より大切です。そして、予防接種(ワクチン)は11、12月が勧められますが、今からでも遅くはありませんので、受けていただければと思います。等潤病院では高熱のある患者さんが待機する特別なエリアを設定し、流行がさらに拡大すれば面会制限などの院内感染対策を実施いたしますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

さて、世相を漢字一文字で表す、平成最後となる2018年の「今年の漢字」は「災」でした。北海道胆振東部地震、大阪府北部地震、島根県西部地震、西日本豪雨、台風21・24号の直撃、記録的猛暑など、自然災害の脅威を痛感した一年で、全国的に防災意識が高まり、多くの人が自助互助共助の大切さを再認識した年であったと思います。

慈生会では災害時にも地域の皆様から頼られる医療機関を目指し、等潤病院を中心に災害対策や災害支援に注力してきました。一ツ家4丁目町会を始めとして近隣町会の皆様と共同で実施している防災訓練や、東栗原小学校で開催される避難所運営訓練に病院として参加していることは、関係機関や地元の皆様より高く評価されています。

そして、昨年12月には東京都が開催する都内全病院対象の講習会にて、等潤病院は新型インフルエンザ対策BCP(事業継続計画)を、そして今年2月には災害時BCPを講演する機会をいただきました。都内にある約640病院の中から先進優良事例として評価されたものですが、職員全員が一丸となって地道に取り組んできた成果が広く認められた事を誇りに思い、そして大変うれしく感じています。

慈生会常楽診療所は一般外来診療に加えて、在宅医療に注力しています。医療機関に来られない患者さんのために訪問診療(往診)を行い、訪問看護ステーション常楽、訪問リハビリテーション常楽、居宅看護支援事業所常楽、地域包括支援センター一ツ家、通所リハビリテーション常楽を統括して、自宅に居ても病院で療養するのと変わらない医療・介護の実践を目指しています。そして、緊急の事態では等潤病院が24時間365日受け入れる体制を整備し、元氣になればまた、ご自宅で療養できるよう、慈生会全体でサポートしています。

慈生会の介護施設であるグループホーム常楽は、1月11日に等潤病院・常楽診療所のすぐそば、一ツ家3丁目に増床して移転しました。認知症デイも半年後を目安に開設します。今後も医療・介護の質向上を推進しつつ、施設の充実・増設も図る予定です。

慈生会は等潤病院を中心に常楽診療所、介護老人保健施設イルアカーサ、各種介護事業が互いに密に連携して、急性期医療からリハビリテーション、在宅医療、介護事業、健康増進まで、「地域と共に生きる慈しみのトータルヘルスケア」の理念のもとに地域に貢献したいと考えております。平時にも非常時にも、地域の皆様に頼られる医療機関を目指して、職員一同、努力して参る所存ですので、今年もよろしくお願い申し上げます。

外来受診表

受付時間：午前／8：30～12：00
午後／13：00～16：50

等潤病院		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
内科	午前	谷口	中山	谷口	大川	大川	黒崎
		蛸井	竹村	大川	坂本	木村	武内(進)
		黒崎	西島	河尻	黒崎		中臺
	午後	阿部(大)	竹村	河尻	蛸井	平松	交代制
		松井	久保田		小野(啓)	山崎	中臺
	林	佐藤(英)					
呼吸器内科	午前	谷口	中道	谷口	坂本	木村	黒崎
		蛸井	西島	中道	黒崎	中道	武内(進)
		黒崎					
	午後	林	久保田		蛸井	平松	
				小野(啓)			
血液内科	午後	阿部(大)					
腎臓内科	午後	松井	佐藤(英)				
神経内科・漢方外来	午前・午後			河尻			
循環器内科	午前	玄	玄	玄	川内	玄	中臺
					佐々木		
	午後	玄	川内		佐々木	川内(第2,4週)	中臺
外科	午前	西	伊藤(雅)	西	青柳	伊藤(雅)	樋口
		青柳	小関	渡邊	仁瓶	伊藤(浩)	交代制
				小野(宏)		小川(康)	
	午後	渡邊	小関	樋口	仁瓶	樋口	交代制
				伊藤(浩)		小川(康)	
			小野(宏)				
乳腺外科	午前						樋口
							鳥屋(第2週)
	午後			樋口		樋口	
整形外科	午前	堀越	幸若		幸若	小川(剛)	金川(第1,4週)
	午後	堀越		武内(俊)	小川(剛)		金川
脳神経外科	午前				大野		交代制
	午後	松原	金中(第2,4,5週)		田村	阿部(肇)	交代制
			請田(第1,3週)				
泌尿器科	午前					松岡	
	午後		横山				福田(第3週)
皮膚科	午前	高橋(典)			伊藤(聖)		
	午後				伊藤(聖)		
リウマチ科	午後			川口(第2,4週)			
内視鏡	午前	樋口	赤澤	井ノ口	松本	小関	西
	午後	小関	赤澤	田上	松本	伊藤(浩)・青柳	
健診		山崎	柳澤	山崎	山崎	山崎	山崎
訪問診療	午後	大川		谷口(第2,4週)		谷口(第2,4週)	

常楽診療所		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
内科	午前	阿部(大)	吉永	大川	田澤	谷口	菅野
	午後	櫻井	沖田		田澤	木村	
脳神経外科	午後		宮崎				
訪問診療		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	午前	櫻井	沖田	伊藤(雅)			
	午後		吉永	中島	坂本	伊藤(雅)	

注) 学会などへの参加により休診・代診になる場合がございます。

注) 外来医師体制表は、一部変更になることもありますので予めご了承ください。

平成30年度 社会医療法人社団慈生会 大忘年会 at 浅草ビューホテル

平成30年12月21日に浅草ビューホテルにて大忘年会を開催致しました。理事長挨拶により大忘年会の開始となり、永年勤続表彰と年間MVP表彰、医療安全標語・川柳大会の結果発表が行われました。職員による様々な種類の余興やビンゴ大会などが行われ、会場は大変盛り上がりしました。



平成30年度 第7回等潤病院 医療安全標語・川柳大会投票結果

【患者さん・一般部門】

☆ 理事長賞

「患者とは 医者の言葉に生かされる」

☆ 優秀賞

「避けようと さがった後ろに人がいる」

【慈生会職員部門】

☆ 理事長賞

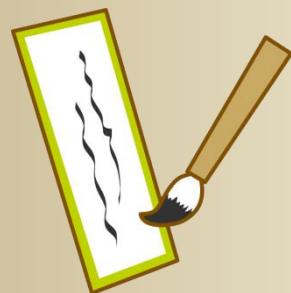
「あとでやる！！絶対忘れる 今やろう！！」

☆ 最優秀賞

「医療機器 数確認で 安全に」

☆ 優秀賞

「こんにちとはと声かければ 盗難防止」



グループホーム常楽より新築・移転のお知らせ



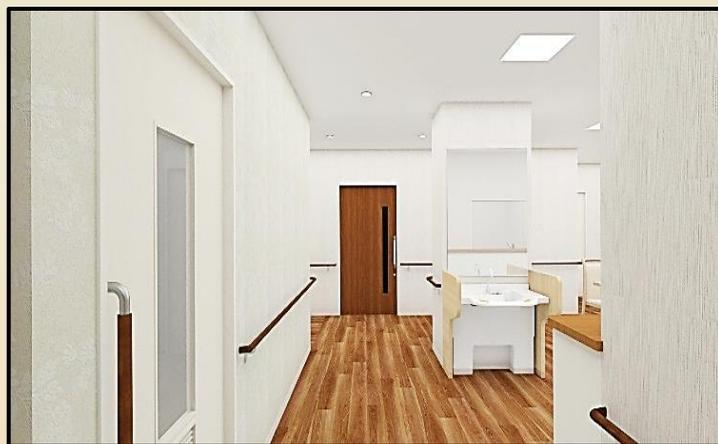
平成31年1月 グループホーム常楽が新しく生まれ変わります。

新設・移転に伴い部屋数も増床、緊急時24時間対応可能な同一法人の等潤病院も隣接、医療・介護のサポート体制もより充実します。

※移転後の所在地：足立区一ツ家3-11-13

ホーム長より

「あけましておめでとうございます。新年早々、新グループホームが誕生しました！ 南花畑には愛着もあり寂しい気持ちもありますが、入居者様にとって居心地の良い、そして安心できる環境を作りたいと思います。等潤病院・常楽診療所に近くなりましたので、入居者様ご家族にも安心していただけます。また、ご家族様が入居者様のADLの低下を一番心配されていますので、スタッフ一同、試行錯誤しながら頑張っていく所存です。皆さま、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします」



画論~the best Image~ 受賞報告

平成最後の画論において、放射線グループがMRI部門で表彰されました！

MRIは応募総数139件、そのなかで4部門(1.5T, 3T, 脳神経、臨床カルアップデート賞)に分かれていますが、このたび**脳神経部門で最優秀賞、3T部門で優秀賞、3T-臨床カルアップデート賞**と3部門において受賞いたしました。各部門・受賞の声をお伝えさせていただきます！

脳神経部門最優秀賞

初めての画論での発表はとても良い経験となりました。発表直前で少し緊張しましたが、無事に終わり安心しました。等潤病院が最優秀賞で呼ばれたときは正直驚きました。受賞の際にマイクを渡された時はコメントを考えるので精一杯でした。顔がこわばっていたかもしれません。発表のために学んだことは、今後の業務においても生かされることばかりであり自分も大きく成長できたと思います。

3T部門優秀賞

新規に導入したWorkStationを用いて臨床画像の評価を行いました。この装置は、大学病院など研究施設で定量評価を目的として使われる者ですが、その方法とは別に現場での新しい使い方を画論という舞台で等潤病院から発信できたことは大変有意義なものであったと思います。今後も、よりいっそう新規性のある診断に有用な画像を提供していきたいと思います。

3T臨床カルアップデート賞

血管を画像化するにはCT検査では造影剤が必要ですが、MRIでは使用せずに血管を描出する事が出来ます。また、血管壁も観察することが可能で血栓の状態も分かります。しかし、それは1枚の画像に過ぎません。今回、流れの動きを見るために短時間で撮影した数枚の画像を組み合わせ、その1枚の画像上で血液の動きが分かるようにカラー表示し、診断に有用な方法を考案しました。

画論とは、キヤノンメディカルシステムズが主催する画像の祭典です。キヤノン製CT, MRI, 超音波を用い、創意工夫を凝らした臨床に役立つ新規性の高い画像を描出し、評価される場です。書類選考において審査を通過した数施設がディスカッションを行い、賞が決定します。